



かわしま

mail:y3kawash@edu.city.yokohama.jp

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawashima/

学校だより 6月号
平成 20 年 6 月 1 日
横浜市立川島小学校
校長 小池 慎一
TEL 3 7 1-0 7 5 7
FAX 3 8 1-7 2 4 8

よこはま かいこう しゅうねん 横浜開港149周年

がっこうちょう こいけ しんいち
学校長 小池 慎一

1853年(嘉永6年)ペリーが浦賀に来航し、その後日米和親条約・日米修好通商条約の締結にともない、1859年(安政6年)横浜が開港しました。

今年2008年(平成20年)は、横浜が開港してから149年目を迎え、来年は150周年の記念すべき年になります。

横浜市では来年の開港150周年に向けた様々な取り組みをしていますが、5月28日から横浜で開催された第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)を応援するために市内55校が参加した一校一国運動で、本校はガーナを応援しました。チョコレートの原料であるカカオ豆を生産する農園で子どもたちが働いていること、ガーナの農村地域では学校はあるけれど学校に行かれない子どもたちが大勢いることなどを、その学習の中で知りました。

5月24日(土)には、開港150周年記念イベントとして開催された、横浜港小学生カッターレースに6年生の代表12名が参加し、すばらしい活躍をしました。5年生の子浦での体験学習が活かされる場でもありました。カッターを漕ぐということは、体力もさることながら、チームの全員が息をそろえ力をあわせることがとても大切です。本校の子どもたちは、決勝進出こそ逃しましたが(予選タイム上位3チームのみ決勝進出)、予選出場24チーム中5位と11位のタイムでした。山下公園から応援している間、子どもたちが、お互いに息を合わせ、それぞれの持てる力をしっかりと出し切った気持ちの良い漕ぎ方をしているのが、オールを漕ぐ表情や体の動きからはっきりと分かりました。

本校の教育目標のキャッチフレーズである「キラリ輝け!!川島の子」の姿を見ることができました。本当に「輝」いていました。

本校では、先日お配りした横浜市教育委員会発行の「これからの横浜の教育」に示されている「知・徳・体・公・開」の5つの視点それぞれ

をバランス良く伸ばすよう努めていますが、その中の「開(国際社会に寄与する開かれた心)」を育てるための手だてとして、例えば英語活動や国際理解教室、福祉教育などの取り組みをしてきており、一校一国運動やカッターレース参加などの機会を通して、子どもたちの中に、少しずつではありますが、こうした心が育ってきているように思います。

今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

